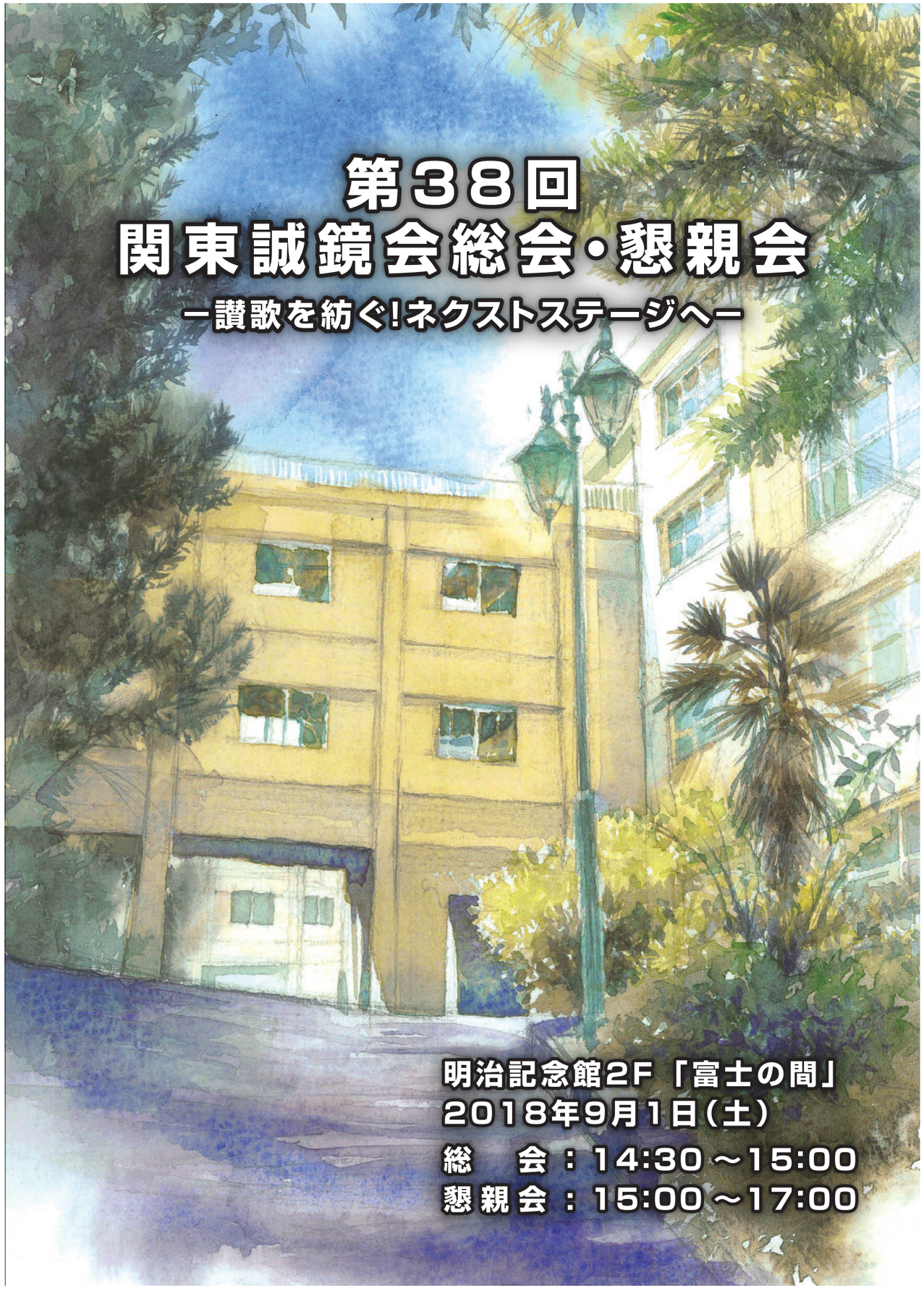

第38回
関東誠鏡会総会・懇親会
ー讃歌を紡ぐ!ネクストステージへー
明治記念館2F「富士の間」
2018年9月1日(土)
総　会：14:30～15:00
懇親会：15:00～17:00

福岡県立八幡高等学校　校歌

作詞　八幡中学国漢部
作曲　矢野　勇雄

洞海のほとり　うすがすむ
希望にもゆる朝ぼらけ
磨くは叡智　修むる徳義
八幡八幡　栄光ある母校
帆柱の嶺に　日ぞ照りわたる

鉄の都の　暮れゆけば
求真のたいまつ　かかげつつ
誦する経史　稱ふる祖国
八幡八幡　輝く母校
九州の野に火と燃えさかる

高き理想を誇りつつ
剛健の氣風　養ひて
たゆまぬ努力　ゆるがぬ心
八幡八幡　我等が母校
御国のためにいざ雄飛せん

八高讃歌

作詞　上野　登史郎
作曲　南　弘明

その名も清田の　丘に寄る
眉　涼やかな　若人よ
誇れ八幡の　歴史を
その昔遠き　文の華
招きし　故郷ぞ　近き代の
創生の証　くろがねを
生みにけらずや　汝が故郷は！

高炉の台　繞る野に
英知の旗を　かざしつつ
春秋めぐる　九十年
栄枯の風に　洞海の
潮騒　哭くも　あらたなる
門出の黎明は　いまぞ明く
直に　進け　進け　若き児よ！

学びの道の　けわしさに
練磨の汗の　きびしさに
耐えて伸びゆく　汝が瞳を
濡らすは熱き　友情よ
汝　この校庭に　はぐくまれ
ここより巣立ち　ゆく生命！
ああ　讃えよやこの母校！
ああ　讃えよやこの母校！

第38回関東誠鏡会総会式次第

総　会
開会宣言
物故者追悼
関東誠鏡会会長 挨拶
来賓ご紹介
来賓ご挨拶
関東誠鏡会 活動報告
関東誠鏡会 事務局報告
閉会宣言

懇親会

女流講談師
　田辺いちか独演会
プロジェクションマッピング
乾杯
ご歓談
世界の！こんなトコロに八高生
ご歓談
実行委員長 挨拶
高校41期への引継ぎ式
八高讃歌・校歌の大合唱
八高ファイト・万歳三唱
閉会の辞

目次

3　ごあいさつ
7　世界の！　こんなトコロに八高生 !!
13　ご紹介　講談師
14　ご紹介　プロジェクションマッピング
15　広告
16　つながり瓦版
21　関東誠鏡会　役員・活動紹介
22　高40期から皆様へ

ご あ い さ つ

関東誠鏡会　会長
福元 勝志　(高30期)

「ご挨拶」

第38回関東誠鏡会総会が開催されますこと、会員の皆様に、心より感謝いたします。また、開催準備にご尽力いただきました中村実行委員長はじめ、40期の皆様には、厚く御礼申し上げると共に、心から敬意を表します。

関東誠鏡会は、1981年に発足され、関東地区でご活躍の同窓生の懇親の場として、今日まで引き継がれて参りました。同窓の先輩方は、各企業や各所でご活躍され、日本経済の一役を担ってきたと言っても過言ではないと思います。

当番期当時、互いに北九州への望郷の念を持ち、語り合った同窓会は、心温まるものでした。私もこの大切な同窓会を次世代にしっかりと繋いでいきたいと思います。

今後も、来京の在校生や在京の大学生への支援や世代間交流を大切にしていきます。

また、関東誠鏡会総会では「知っている人がいない」ではなく「新たな仲間づくりの場」としてもご活用いただきたいと思っています。

最後になりますが、母校と関東誠鏡会の益々のご発展と会員の皆様のご健勝を祈念して、ご挨拶と致します。

福岡県立八幡高等学校　校長
内村 尚俊（高33期）

「ご挨拶」

第38回関東誠鏡会総会が、「讃歌を紡ぐ～ネクストステージへ～」のテーマのもと、盛大に開催されますことを、心からお慶び申し上げます。

今春の人事異動では、定年退職した力久幹二事務長の後任として、生田千博事務長がひびき高校から転任して参りました。私と同じ八幡高校33期生です。同窓教職員は14名になります。

全教職員力を合わせて八幡高校の発展のために尽力して参ります。

関東誠鏡会の皆様には、母校の教育活動に物心両面からご支援ご協力を賜り、特に、昨年７月に開催された放送部の全国大会、本年３月に実施した本校１学年の関東・関西研修の折に賜った大いなる激励に心から感謝申し上げます。生徒達は先輩方の心温まる励ましに大変勇気づけられて帰って来ました。地域で特に進む少子化、学区の特異性、学校の立地条件等から、生徒募集には大変苦慮しているところですが、八幡高校は、来年度の創立百周年、さらにその後を遠く見据え、未来社会を逞しく創造する八高生を育成します。

今後とも変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願いするとともに、関東誠鏡会のますますのご発展と会員の皆様のご健勝をお祈りいたしましてご挨拶とさせていただきます。

誠鏡会　会長
濵地　英伸　(高15期)

「第38回関東誠鏡会総会を祝して」

関東誠鏡会の皆様には、第38回総会が開催されますことを心よりお慶び申し上げます。篠原会長におかれましては、関東誠鏡会の運営に尽力されておられますことに、また、中村実行委員長を始め高校40期の皆様には総会開催へのご努力に対し、心からの敬意を表します。この度の総会は「讃歌を紡ぐーネクストステージへー」をテーマに開催されますが、会員の元気を引出し、心を引き付ける想いがいたします。

さて、母校は来年、創立100周年を迎えます。誠鏡会としても、この記念すべき年を祝うために、同窓会館建設を計画し準備して参りました。諸官庁との折衝も終わり、本年7月より来年の6月までの1年間で建設資金の寄付金を募ることになりました。すでに、皆様方のお手元に趣意書が届いていることと思います。

是非、会員の皆様のご理解を頂きまして、ご支援ご協力の程よろしくお願い致します。

本年は、力久幹二事務長が退職され、後任として生田千博事務長（高33期）が赴任して来られました。

同窓の内村校長、そして、同年の浦野教頭と共に、また父母教師会と創立100周年に向けて母校を盛り上げていきたいと思っております。

最後になりましたが、関東誠鏡会の益々の発展と会員の皆様のご健勝を祈念し、ご挨拶といたします。

北海道誠鏡会　会長
野村　俊治（高16期）

「ご挨拶」

第38回関東誠鏡会総会が、高校40期実行委員の皆さんが中心となり、盛大に開催されることをお祝い申し上げます。昨年は、料理研究家で12期・村上祥子さんの貴重なおはなしを直に聞くことができ、糖尿病の特病を持つ身として「たまねぎ」を使用する料理で体質改善・予防と大変参考になりました。今年も多彩な催しに、参加を楽しみにしております。奇しくも9月1日は、95年前の関東大震災が起きた日であり、壊滅的な状況からの再建、さらに太平洋戦争後の焼野原からの復興と、東京という都市・都民のエネルギーには感動するばかりです。そして、2020年、2度目の夏期オリンピックに向けて、まさにエンジン全開の様相に期待も大きくふくらみます。

北海道も今年が開基150年、先人たちの血と汗の大変な苦労があって発展してきました。

私達会員も、少人数で活動も思うようになりませんが、全国各支部からの友情参加が力となっております。

一番近くで会員も多い関東の皆様には特段にお願い申しあげます。

最後になりますが、関東誠鏡会の発展と皆様のご健勝を祈念し、御挨拶といたします。

中京誠鏡会　会長
岩浪　哲炉（高23期）

「第38回関東誠鏡会総会　お祝い申し上げます」

第38回関東誠鏡会総会が斯くも盛大に開催されますことに、心よりお祝い申し上げます。高40期の皆様方のこれまでのご尽力に感謝申し上げます。

これまでにない斬新な企画とのこと、大いに楽しみたいと思います。

我が中京も今年は16周年を迎えました。特に40期をはじめ39～42期の方々が大勢ご出席下さり、大いに若返りのパワーを頂きました。毎年好評の「為になるいいお話」では、メキシコシティー五輪マラソン銀メダルリストの君原健二氏に講演して頂きました。校歌斉唱では39期木下淳次郎氏のリードで一緒に肩を組み、青春を謳歌しました。翌日は「ＭＲＪミュージアム、トヨタ産業技術記念館、ノリタケの森」と中京の物作りを続けて見学、最後は名古屋めしで、親睦を深めました。また、年間活動として、「歩こう会」では桶狭間古戦場と有松の町並みを散策、テニス同好会も盛んです。

また、31期小川さんのお世話で2万発の長良川花火大会では、泡付き、お寺泊まり込みで鑑賞する等、同窓生の絆を深めています。来年はいろいろ楽しい中京誠鏡会に是非ご参集下さい。最後になりましたが、関東誠鏡会の発展と皆様のご健康ご多幸を祈念し、お祝いの言葉とさせて頂きます。

関西誠鏡会　会長
入江　敏弘　（高24期）

「讃歌を紡ぐ」

第38回関東誠鏡会総会の開催、お慶び申し上げます。
また、本総会の開催にあたり、40期の実行委員の皆様の御尽力に深く感謝申し上げます。

今回の総会のテーマは、「讃歌を紡ぐーネクストステージへー」ということで、「八高讃歌」を連想するところと書きたいのですが、我々の世代（私だけ?）は残念ながら、本歌は記憶にありません。

やはり、校歌が、今も昔も我々の心に響く歌であり、若さを持ってチャレンジしたいと思う気概を感じさせてくれる歌です。特に3番は、今でも心に深く感動を覚えながら総会では歌っています。温故知新も良いのでは無いでしょうか?このような事を書くと、歳を取ったからだと思われますが、個人的には新しいものは好きです。

特に、首都東京の変化は3か月も訪れないと、まるで別の街と見誤る変貌があり、常に好奇心をそそり、また様々な文化を感じることのできる街だと思っています。人によれば暮らしにくいと言う人もいれば、私のように、年を取ってもまた住みたいと思わせる場所がここ東京です。

最後になりますが、関東誠鏡会の益々の飛躍をお祈りして、御挨拶に代えさせて頂きます。

福岡誠鏡会 会長
平良　卓司（高校32期）

「ご挨拶」

第38回関東誠鏡会総会の開催を心よりお慶び申し上げます。
5年の長きにわたり福岡誠鏡会を牽引して頂いた橋内京子会長（高26期）の後任として、この度、福岡誠鏡会会長を拝命いたしました高校32期の平良（たいら）と申します。

宜しくお願いいたします。今年の関東誠鏡会総会のテーマは、「讃歌を紡ぐーネクストステージへー」と伺っております。このテーマには、我が母校が100周年を迎えるにあたり、伝統を重んじつつ、既成概念に囚われない新しい世界へ果敢にチャレンジしていこう、チャレンジする同窓生を応援していこうという素晴らしい想いが込められているとのこと。かく言う私自身も、高校卒業後、関東の地で15年ほど過ごした後、帰福。起業。そして、気が付けば、福岡の地で20年以上を過ごしています。毎日、毎月、毎年、チャレンジの連続でした。ご縁をいただき、母校の同窓会運営に携わらせていただき、チャレンジを続けている数多くの先輩後輩に囲まれ、大いに刺激を頂く日々です。これからも、自身もチャレンジを続け、そして、微力ながら周りの方々にも良い影響を与え続けていきたいなと思っています。

最後になりましたが、本日の総会のご盛会と関東誠鏡会のますますのご発展、皆様のご多幸を祈念いたしまして、挨拶とさせていただきます。

肥後誠鏡会　会長
副島　秀久（高20期）

「第38回関東誠鏡会総会を祝して」

第38回の関東誠鏡会総会、誠におめでとうございます。当番幹事の40期の皆さま、立派な会を準備していただき、ありがとうございます。関東誠鏡会総会には、昨年から参加させて頂いており、私も久しぶりに多くの同期の仲間たちと再会することができました。さすがに、関東一円から多くの同窓生が参加され、その盛況ぶりは羨ましい限りです。当肥後誠鏡会は、こぢんまりとした会ではありますが、総会では本部や全国の誠鏡会のご参加を得て、毎年、賑やかで楽しく、また懐かしい時間を共有しております。今年は、5月26日の土曜日に総会を開きましたが、その前段として、夏目漱石ゆかりの地を巡るバスツアー「漱石の草枕を訪ねて」を企画し、25名の方が参加されました。朝方の雨も上がり、漱石が残した句をたどって峠の茶屋から有明海、雲仙をまぢかに見る小天周辺を巡りました。草枕では『とかく住みにくい人の世』とありますが、同郷の人たちが集まってこうして旅をし、旧交を温め、故郷を思い、酒を酌み交わすひと時は束の間であっても、ひときわ楽しいものでした。

来年も、楽しく勉強になるツアーを計画しています。里帰りがてらに一足延ばして参加しませんか。

宮崎誠鏡会　会長
三重野　彰敏（高19期）

「ご挨拶」

第38回関東誠鏡会総会が、篠原正美会長の下、高校40期当番期の皆さんの力で盛大に開催される事を、心よりお祈り申し上げます。
今回は、私も参加させて頂こうと思います。初めてですので、楽しみにしています。よろしくお願いいたします。

さて、私ども宮崎誠鏡会は、今年、第13回総会を5月12日に無事終えることができました。本部誠鏡会の皆様をはじめ、たくさんの方のご協力のお蔭です。今年は天気に恵まれ、前日からの高19期を中心とするゴルフコペは、二日とも最高でした。初めて参加した19期の澄友さんは、「宮崎のコースは広くてOBにならないな、今度2～3日連チャンしたい」と言っていました。宮崎のゴルフコースは人気です。市内中心から20～30分内に10か所以上あります。夜もにぎやかで、スナックの数は人口比で日本一です。
皆様も一度、宮崎誠鏡会にご参加ください。

最後になりましたが、会員皆様のご健勝とますますのご発展を祈念いたします。

来賓ご紹介

本会へのご出席を賜り、誠にありがとうございます。
謹んでお礼申し上げます。

八幡高等学校		校長	内村　尚俊	（高33期）
誠鏡会				
	誠鏡会本部	会長	濵地　英伸	（高15期）
		副会長	今田　成子	（高21期）
		副会長	岡橋　正之	（高23期）
	北海道誠鏡会	会長	野村　俊治	（高16期）
	中京誠鏡会	顧問	難波　範晃	（高11期）
		事務局長	佐藤　智宏	（高30期）
	関西誠鏡会	顧問	高村　馨	（高　9期）
		顧問	次山　皖子	（高　9期）
		会長	入江　敏弘	（高24期）
	福岡誠鏡会	会長	平良　卓司	（高32期）
	肥後誠鏡会	会長	副島　秀久	（高20期）
		事務局次長	緒方　司	（高26期）
	宮崎誠鏡会	会長	三重野彰敏	（高19期）
北九州市				
	北九州市東京事務所	所長	池永　紳也	
		副所長	正野　睦朗	
謝志会				
	謝志会	会長	木村　進	（戸畑高校）
	謝志会	事務局長	結城　謙吾	（東筑高校）
	東京東筑会	事務局長	億谷　和彦	（東筑高校）
	関東明陵同窓会	幹事長	石飛　博之	（小倉高校）
	東京紫水会	副幹事長	村田　良丞大	（小倉商業高校）
	津苑会東京支部	支部長	五味　英人	（小倉西高校）

（7月24日現在・敬称略）

世界の！こんなトコロに八高生！！

世界の各地で生き生きと活躍中の同窓生、そして海外在住経験を持つ同窓生の方々をご紹介します。(敬称略)

12 高40期　荒牧健二郎
中国・深セン市

皆さん地元の言葉と標準語（北京語）のバイリンガルで驚きました。地方ごとに多種多様な方言があり、お互いは全く通じないため標準語で話さざるを得ないのです。
広い中国は山一つ、川一つ越えると言葉も人もバラエティに富んでいます。

5 高37期　原田典明
台湾・台中市

コーティング肥料の製造、販売の会社に勤め台中に駐在しています。
バイクが多く、道路は歩行者ではなく車が優先です。道路を渡っていると車やバイクが突っ込んできます(笑)。日本製品は何でも入手できますが、焼酎は手に入りにくく高価です。
日本の4倍くらいします。

13 高40期　中村知子
中国・瀋陽市

中国では最近ほとんど現金を使わないです。携帯で支払できるし、友達や知り合い同士でお金の送受信もできます。

19 高43期　佐南貴美子(旧姓和田)
アメリカ・カリフォルニア　パロアルト

夫の仕事で渡米。この町が気に入りそのまま居ついてしまいました。空が青く人々は寛容です。

8 高38期　アブシェイゲン稔奈(旧姓三好)
アメリカ・ヒューストン

この国は異文化が混じり合い、違いを認めあう感覚があります。目が合えば知らない人とも挨拶し笑顔で会話します。E-Force というメーカーのラケットボールプレイヤーです。

17 高41期　吉岡生信
台湾・台北市

吉岡桃太郎というペンネームで台湾や日本についての執筆と話すことが仕事です。ほぼ毎月九州と台湾を行き来しています。

14 高40期　佐藤美季
メキシコ・クリアカン
(2018年7月よりスペイン)

9 高39期　宮崎純
オーストリア・マッティングフォーフェン(P.10)

2 高30期　山下抄一
ベトナム・ハノイ、ホーチミン

パンとスイーツが東南アジアで１番美味しい。
女性が強く、カカア天下です。
メッセージ動画→

11 高40期　江頭誠
ミャンマー・マンダレー

麒麟麦酒(株)に勤め、現在はミャンマーに駐在。この国最古のビール会社、マンダレーブルワリー社で働いています。
物価が安く生ビールは60円程で飲めます。

1 高20期　帆足とも子
イタリア・ミラノ

最近はお振袖や芸者、花魁の着付けデモンストレーションが仕事の一部になっています。
メッセージ動画→

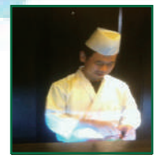
15 高40期　簑田武
ベトナム・ハノイ(P.11)

3 高34期　竹田真史
香港(2018年4月よりシンガポール)

香港は土地が狭いので高層ビルが多いのですが、ビル工事の足場が金属ではなく「竹」を組んでいます。風水を重んじるスタッフが多いので、オフィスレイアウトはスタッフの意見に従っています。

16 高40期　上永和弘
インドネシア・ジャカルタ(P.12)

7 高38期　森建輔
メキシコ・メキシコシティ



メキシコで寿司職人をしています。
驚いたのは、運転免許証がショッピングセンターで買える事。休日はボクシングジムに通っています。
この国で困ることは、約束事があてにならないということ。お勧めの場所はSanAngelの蚤の市です。

6 高37期　高野弘美
オーストラリア・シドニー

2016年にシドニーに移住し、現在3つのバンドと2つのウクレレユニットに所属しています。毎週木曜日にバーで演奏しています。
今までイタリアやアンゴラにも在住しました。
オーストラリアはアジア人も多く、楽なことが多いと思います。

4 高37期　オークリーあずさ
オーストラリア・メルボルン(P.9)

18 高42期　Huch晶子(旧姓岩崎)
オーストラリア・ブリスベン

何もかもが大きい国です。のんびりしすぎていて、たまにイライラすることがあります。子供を育てる上で児童手当に相当するものがしっかり保証されています。

10 高40期　山田正剛
タイ・バンコク

渋滞がひどく、タクシーは運転手が行きたくなければ、乗車拒否されます。ビーチサンダルで出勤する女性に驚きましたが排水が悪く雨季に雨が集中的に降ると歩道が冠水して歩けなくなるからとわかりました。
日本人がとにかく多いです。

過去に海外在住経験のある同窓生の方々（敬称略）

1.　高8期　郷田　祐弼
アメリカ・UPS大学留学(1961.8-1963.9)

2.　高9期　田代襄二
トルコ・サムソン（1975-1977）
トルコ・バフラ　（1985-1988）

3.　高12期　能浦　栄蔵
アイルランド（1989-1991）

4.　高15期　木原節子(旧姓大島)
アメリカ・ニューヨーク（1975-1979）

5.　高16期　堤　凡人
アメリカ・ニューヨーク（1983-1988）

6.　高16期　都筑(旧姓秋吉)友美
ドイツ・フランクフルト(1991-1998)

7.　高18期　重松　和典
アメリカ・ダラス（1985-1987）
アメリカ・ワシントンDC(1987-1989)

8.　高18期　三善　昌昭
韓国・ソウル（2000-2003）

9.　高18期　長田　先雄
アメリカ・ニューヨーク（1988-1994）

10.　高20期　瀬里　信義
アメリカ（1988-1991）
中国　（2004-2007）

11.　高22期　今林　靖博
イギリス・バーミンガム（1983-1984）

12.　高23期　菊地悦子(旧姓木原)
アメリカ　（2004-2007）
カリフォルニア,サクラメント,バージニア

13.　高24期　山田　修司
サウジアラビア・アルジュベール(1982-1983)
フィリピン・バタンガス　（1993-1996）

14.　高26期　高尾　俊則
南極昭和基地　（1983-1985）
南極昭和基地　（1992-1994）

15.　高29期　中川　雅浩
オランダ・アムステルダム（1984-1986）

16.　高30期　松崎　均
香港（1990-1993,1995-1998）
アメリカ・ワシントンDC　（199３-1995）

17.　高33期　完山　泰秀
ロシア・ハバロフスク（1992-1993）
ロシア・モスクワ　（1993-1994）

18.　高34期　岩田　浩一
カナダ・バンクーバー（1990-1991）

19.　高34期　菅　好男
アメリカ・カリフォルニア（1983-1985）
ベルギー・アントワープ　（1992-1993）

20.　高34期　村田　秀樹
シンガポール（2007-2009）

21.　高34期　吉里加奈子(旧姓宇野)
インドネシア・ジャカルタ（1991.9-1995.11）

22.　高38期　仲宗根　邦宏
ベトナム・ハノイ（2001-2005）
フィリピン・マニラ　（2013-2017）

23.　高39期　木下　淳次郎
シンガポール（2000-2002）
マレーシア　（2002-2007）

24.　高39期　斉藤　準一
メキシコ（2000.1-2003.5）

25.　高39期　藤原幸子(旧姓平岡)
アメリカ・カリフォルニア（1996-1999）

26.　高44期　相川　雄吾
中国・杭州（2013-2018）

世界の！
こんなトコロに八高生!!
日本との違いを乗り越え世界で活躍中の同窓生をクローズアップしました

高37期　オークリー(旧姓:浜崎) あずさ さん
オーストラリア /　　MMM　interiors
Canberra, Australia

◆八高時代に今のご自身を想像できましたか？
答えはNOです。3年の担任の英語の柴田先生が今、私がオーストラリアに住んでいることを知ると驚くと思います。不真面目な生徒でしたから（笑）
現在私は、オーストラリアの首都、キャンベラにオーストラリア人の夫と共に住んでいます。首都と言っても東京みたいなところを想像してはいけません。人口は約40万人、自然がたくさんあり日が暮れると家の前にカンガルーが出ます。広くて空が青いとても綺麗なところです。

◆八高卒業後の進路について教えて下さい
当時の九州大学医療技術短期大学部衛生技術学科（3年制）に進学。文系でしたが化学が大好きで、試験科目と家から通える範囲の国立大学という理由で進路のことはあまり深く考えていませんでした。医療短大卒業後は、修学旅行で体験したスキーをまたやりたいと思い東京八王子の特殊臨床検査専門の会社に就職。遺伝子検査部に配属され仕事はヒト染色体分析でした。その後、顕微鏡で覗く世界よりもっと広い世界を見てみたいと、会社は3年であっさりと辞め、ワーキングホリデーでオーストラリアに行きました。日本の国土の約20倍ですからね、文字通り広い世界です。英語もろくに話せない、まったく一人ぼっちの環境で、1年間、大陸(世間)の広さと自分の小ささを実感させられましたが、その中で自分自身大きく成長できたと思います。この時の経験が、後の自分の人生に大きな影響を与えました。帰国後、長野のスキー場で働いたり、ニュージーランドでツアーガイドをしたりした後、九大に戻って医学部放射線科で働いたり、翻訳の仕事をしたりしました。

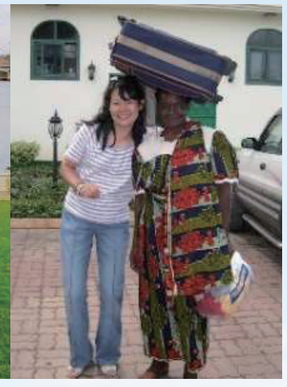
◆その後、東アフリカのタンンザニアに行かれたのですね？
2000年2月から約2年間、JICA国際協力機構の嘱託職員として、タンザニアに赴任しました。現地では、青年海外協力隊事業に関わる業務に従事し、隊員の受け入れやサポート、またタンザニア国内をくまなく回って隊員の活動視察や派遣先との調整業務などを担当。一言では決して言い表せない程色々な経験をしました。当時のタンザニア人の家には、水道や電気がなく、たとえあっても断水したり、停電していたりしていました。バケツを頭の上に乗せて何百メートルも歩いて水を汲みに行く、その手には携帯電話。インフラ整備の順序っていったい何?と思うようなこともありました。タンザニアでの2年間はとても貴重な経験で、自由に生きて来られた自分の境遇にも感謝しましたし、今まで放浪してきた自分のその後の人生をじっくり考えるきっかけを得たように思います。

◆タンザニアでの契約が終わった後は？
日本、オーストラリア、ニュージーランド、タンザニア。どこも住めば都ではあるけれど、4カ国の中で一番住みたい!と思えたのが、若いころに刺激を受けたオーストラリアだったのです。そこでオーストラリア移住を計画。まずは3年間インテリアデザインの勉強の為 留学しました。結婚相手もそこで見つけたい!と。37歳の出来事でした。そして「思うは招く!」夢は叶い現在に至ります。

◆現在のインテリアデザイナーとしてのお仕事について
勤務先は、経営者を含めて全部で7名の小さなインテリアデザイン＆施工管理会社です。ほとんどの物件が新築ではなく改装なので、壁をぶち抜いたり、増築したりという最終的なデザインを決定した上で、見積もりや契約から材料や特注家具の発注、施工管理の一部に至るまで幅広く担います。
首都という土地柄、会社のターゲットが割と富裕層なので「うわぁ〜」と驚くほど大きな家だったり、予算が潤沢にあったりで、デザインする側としては、やりがいのある楽しい物件が多いということが魅力ですね。

◆オークリーさんの「ネクストステージ」とは?
『目指せ１００カ国！』
元々旅好きで、独身時代に34ヵ国。結婚してからは夫も旅好きなので現在までに56ヵ国。今後も少しずつ数を増やしながらいつの日か３ケタを達成したいと思います。また出来るだけ多くの同期と還暦の同窓会で会う、という目標も絶対に実現させます。その為にはまず健康!ですね。

オークリーさんのネクストステージ
『目指せ１００ヵ国！』



高39期　宮崎　純　さん
オーストリア ／ ＫＴＭ
Mattighofen, Austria

◆八高時代の思い出は？
入学直後の実力テストの成績に落ち込んだり3年生の時に世界史の点数で苦しんだりしましたが物理の成績は悪くなかったと思います。ノートを提出させる先生でしたが私は一度もノートを取らないようにしたら内容が頭に入ってくるようになりました（笑）

◆日本ではどんなお仕事を？
大学の機械工学科を卒業後、ホンダに入社しました。配属の際、より自分の思いを反映しやすいと聞き、２輪のエンジン設計を選びました。そこからHRC（ホンダレーシング）に異動しました。レースは好きだったので願ったり叶ったりでした。

◆そこからどのようにオーストリアへ？
今の会社KTMが2017年よりMotoGP(オートバイの世界選手権)に参戦するにあたり、エンジニアを集めていましたが、ホンダで一緒にやっていてKTMに転身したオーストリア人のチームメカニックからトランスミッションとクラッチが分かる人という事で私に声がかかりました。2015年の事でしたが、一緒に働いていたのはその7年も前でしたし他に優秀な人がいるのになぜ私に?と思いました。

◆お仕事ぶりがよほど印象に残っていたのでしょうね。でも決意されるのは大変だったのでは?
同じオーストリアの企業のRedBullがスポンサーでついているから、潤沢に資金も出て開発もそこそこ進むだろうし、心配はないなと思いました。
本社のあるMattighofenがあまりにも田舎で適切な学校も見当たらず家族を連れて行けないので、初め家族の反対もありましたが、当時小学生の長男が、「お父さんは世界に挑戦しに行くんだから、家族が応援しなくてどうするの?」と妻を説得してくれました。長男が本当に大人びていて驚きました。

宮崎さんからの
メッセージ動画はこちら
ネクストステージ　　同級生の皆さんへ

◆現在KTMでのお仕事はいかがですか？
無駄な会議や承認作業が少なく、設計の仕事に集中できるところが良いですね。小さな会社のせいなのか、急ぎすぎず、皆とよく話して、新しいアイデアが出た時にはやり直す時間をくれるので、結局は失敗が少なくなり、良いものが最短で出来ます。やりたい事をやりたいようにやらせてくれるので、楽しくて仕方ないです。もちろん責任は全部自分にありますし、プレッシャーも半端ないですが。

◆サーキットには同行しないのですか？
エンジニアはデザイナー(設計)なので、基本的にはオフィスに留まって設計をします。それを上手にセッティングしてハンドリングするのが同行するメカニックです。新しいライダーが乗る時やパーツのシェイクダウンの時は同行することもあります。

◆一番やりがいを感じる時は？
それはもう、レースで勝つ時です。うちの車はまだ弱小なのですが。後は、新しい物を入れた時にライダーやメカニックが喜んでくれた時もです。彼等の為にもシンプルに造る事を心がけています。

◆宮崎さんにとっての「ネクストステージ」とは？
『歩いた先にあった場所』です。私の場合は自分のできる仕事を実直にやっていくということを積み重ねてきただけで、海外に行きたいとか立身しようという事ではありませんでした。自分のやりたい事、目の前にあった道を一歩一歩、歩いて行ったらその先に、今の仕事なり職場なりがあって、そこがヨーロッパという土地でした。次のネクストステージは、やはり世界選手権でまず1勝すること。次にチャンピオンを取ることです。その先に何があるかは分かりませんが、自分の能力と力を出した結果として受け入れようと思っています。

宮崎さんのネクストステージ
『歩いた先にあった場所』

世界の！
こんなトコロに八高生!!
日本との違いを乗り越え世界で活躍中の同窓生をクローズアップしました

高40期　簑田　武　さん

ベトナム/ BMF Global Trade＆Consulting Service Co.Ltd

Hanoi, Bietnam

◆八高時代の思い出は？

ラグビー部で大小11か所も骨折をしました。きつい、汚い、苦しいで特に高校1年の時は毎日が地獄でした。ラグビー以外をする余裕が全くありませんでした。しかし部活を引退してからは毎日毎日が天国で友達も増え、みんなで明け方まで遊んでいました。受験生でしたがみんな全く勉強していなかったですね。

ラグビーのおかげでそれ以降の人生はどんな逆境にあっても、ラグビーに比べると何ということはなく余裕で乗り越えて今日まで楽しく生きています。

◆高校卒業後は？

子供の頃は橋やダムが好きで、土木科に行こうと思っていましたが、瀬戸大橋や青函トンネルが完成してしまって、もう土木の時代じゃないと思ったことと、建設会社は給料が良いという、友人の話の影響もあって、大学は建築科に行きました。

そして建設会社に入り、7年目でODAのJICAの仕事でベトナムに行きました。

◆ベトナムでのお仕事は？大変な目に遭われたとか？

年間で小学校81校の他、病院も造りました。自分のモットーは「死にゃせん」どんなに苦しくても死にゃせんと思っていたのですが、ベトナム政府の管轄外の国境沿いの無法地帯での仕事では、3回死にそうになりました。

1回目は、山の頂上に小学校を建てる時。車で行ったのですが、日本のように舗装道路がないのであと2センチで崖下に転落するところでした。 その場所を通ったもう１台の車は実際転落してしまった。運が良かった。それでまず道路を造ることになり結果的には学校よりも喜ばれました。

2回目は、現地の人々100名に囲まれて銃を突き付けられた時 。中国人が攻めてきたと勘違いされたようです。きちんと役所から 話が通っていなかったようで、その時は何とか通訳を通して「今度証拠を持ってくる」と言って説得し、その場から慌てて逃げました。後日書類を持って行き、事なきを得ました。

3回目は、3つの部族の縄張りの境界線の中心に学校を建てようと していたようで、2階の床まで造ったときに100人程が襲ってきて、斧で脅された時。逃げられない所まで追い詰められましたが 、開き直って日本語で「やれるもんならやってみろ!」と叫びながら前進すると、さーっと道を開けたので、そのまま逃げました。それからしばらくして女性や子供に飴や鉛筆を配ったりして心を開いてもらい、部族のボスと話すことが出来、問題は解決。このような経験の後、日本に帰って建物を造ると電話一本で簡単に建ってしまうので物足りなさを感じていました。

◆それで独立しようと考えたのですね？

それもありますが、 中国では大企業のトップが20代であることに触発されたというのも事実です。35歳から独立を志し、1年半位、本で独学したり、無料セミナーに行ったりして大体の必要な知識は身に付けました。

37歳で会社を辞め独立するのですが、その前は新たに身に着けた知識を使って会社で仕事をすると、面白いように何でも上手く行く、そんな体験もしましたね。

◆今のお仕事は？

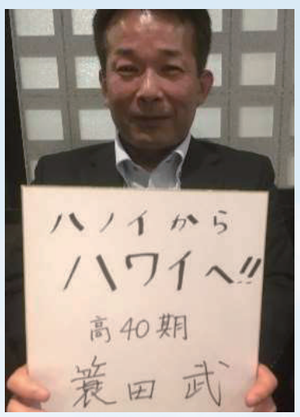
ホーチミン、ハノイを拠点に初めは建築の仕事が主でしたが、 今はカジノの設計の他、テレビ番組制作や工場建設、企業のプロジェクトの際の車や人の手配などトータルコーディネーターの仕事やアンテナショップの経営など自分の好きな仕事だけをやっています。

◆簑田さんのネクストステージは？

ハード面だけでなくソフト面も自分ですべて決めて、自分の理想の建物、ホテルなどを建てたいと思っています。また、将来は拠点をハワイに移したいとも考えています。

「ハノイからハワイへ!!」 ですね。

簑田さんのネクストステージ
『ハノイからハワイへ!!』



高40期　上永　和弘　さん

インドネシア /　三浦工業（株）

Jakarta, Indonesia

◆まず八高の思い出をお聞かせください

弓道部で練習は毎日21時位まででしたね。厳しかった分、仲間の絆はすごく深まりました。夏休みに自転車で九州を走ろうと大分～熊本～福岡を3日間、朝から夜遅くまで走り続けました。ママちゃりもいて、色んなハプニングがありましたが良い思い出です。

◆会社のことをお聞かせ下さい。日本でのお仕事は？

業務用のボイラーを扱っている会社に勤めています。ボイラーは様々な業種の工場に入っています。私はずっと技術系ですが、製販一体活動で営業と一緒に日本全国を回りました。

◆最初の赴任先はカナダのブランドフォードなんですね

入社して10年経った頃、妻と息子と家族3人で行きました。カナダには4年間。死ぬほど英語を勉強しました。子供は現地の学校へ行かせましたが幼稚園ながら状況を理解し、感覚的に言葉を覚えて自然と英語を話すようになりました。私も現地の人と話す中でだんだんと自分の中にカナダの文化が入ってきました。カナダは景色が素晴らしく秋になると真っ赤に紅葉したメープルリーフの街道が100km以上続いていました。現地の日本人スタッフは社長、営業、そして自分だけ。工場の従業員はカナダ人は1人。他はベトナム人とロシア人などバラバラで面白かったです。今みたいにネットで翻訳も出来ない時代なので電子辞書で訳していました。当時は工場の修理からＰＣの修理まで何でもやっていました。

◆次はアメリカにご家族で行かれたのですね。工場の立上げは大変だったのでは？

愛媛に戻った2年後、アトランタに2年間赴任しました。日本の仕事も大変、海外だから特に大変ということはないです。奥さんは大変でした。帰国した時日本の学校に対応できるようにと、息子は月～金は現地の学校、土曜日は日本人学校に通いました。また、アメリカ南部はアメリカ人No,１という意識が強く評価に対してアグレッシブに言ってきたりもしました。日本のように上司が間違ったことを言っても、従うようなことはなく背景から理由まで全部説明が必要でした。

◆アメリカから帰国した後インドネシア・ジャカルタに行くことになった経緯を教えて下さい

帰国後、愛媛本社で海外と関係ない部署を希望しました。ちょうど子供が小6で中高一貫校に入学が決まったからです。海外にはもういかないつもりでいました。しかし、カスタム設計の部署でお客様向けのセミナーをやったりして5年経った頃、だんだんと飽きてきてしまい、定年まで10年ちょっとで先が見えた時に、もう１つ違うことをしたいって気持ちが出てきました。一度の人生、色々なことを体験してみたい! と。そうしてジャカルタに来ました。

◆ジャカルタはどんなところ？

インドネシアのＧＤＰの１０％を日本企業が生み出している国。車はほぼ100%日本車、日本人とインドネシアの繋がりはすごくあるけど公共の場で日本語は殆ど通じません。インドネシア語は英語とは全く違います。仕事上数字を覚えないといけないけれど数字の文字が凄く長い。宗教は9割がイスラム教で会社にもお祈りする場所があります。海外に行けば役職が上がりそこの部署のトップになれます。誰の指示も受けず自分で判断できるようになり、そこが面白いです。ジャカルタだって愛媛県から高知県に異動したくらいのイメージ。距離はあまり気になりません。

◆上永さんにとっての「ネクストステージ」である海外とは、どんな場所ですか？

「新たな気づきを与えてくれる所」です。今回で3カ国目になりますが海外で働く事により、その都度考え方の幅が広がり、人生を豊かにしてもらっています。現地で暮らしてみて初めて知ることも多くあります。今は努力しがいがあるのでこのジャカルタで頑張ってみて他にまた面白いことがあればチャレンジしたいと考えています。

上永さんのネクストステージ
『新たな気づきを与えてくれる所』

上永さんからの
メッセージ動画はこちら

ご紹介 講談師

講談（こうだん）とは、日本の伝統芸能のひとつ。演者は高座におかれた釈台（しゃくだい）と呼ばれる小さな机の前に座り、張り扇（はりおうぎ）でそれを叩いて調子を取りつつ、軍記物や政談など主に歴史にちなんだ読み物を、観衆に対して読み上げます。

起源は戦国時代の御伽衆（おとぎしゅう）であると言われていますが、寄席演芸としての講談の原型は、江戸時代の大道芸のひとつである辻講釈（つじこうしゃく、または大道講釈）に求めることができます。辻講釈は太平記などの軍記物を注釈を加えつつ調子を付けて語るものです。

宝永年間には公許の常設小屋で上演されるようになり「講釈」と呼ばれるようになりました。文政年間には話芸としてほぼ確立し、幾つかの流派が誕生しました。他の芸能との交流も進み、講釈での人気演目が歌舞伎や人形浄瑠璃化されることもあったそうです。明治時代以降、講釈は講談と呼ばれるようになりました。

江戸末期から明治時代にかけて、講談は全盛期を迎え、新聞や雑誌に講談が連載されるようにもなりました。しかし、明治末に浪花節、昭和に入っての漫才など他の大衆芸能の誕生、大衆メディアの発達などの影響を受け、目にする機会も減ってきました。

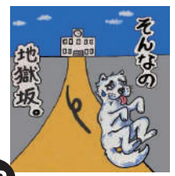
歴史ある日本芸能を受け継いでいる田辺いちかさんを
ぜひ応援していきましょう！

懐かしい高校の風景を
ラインスタンプで．．．

告知！！

八高の思い出 ラインスタンプ

懐かしい先生、学校での風景がラインスタンプに!

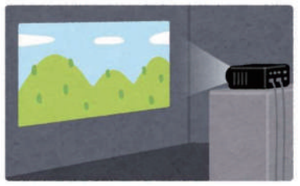


←詳しくは関東誠鏡会
総会FaceBookを
ご覧ください。

制作協力 宝塚大学 東京メディア芸術学部／八幡高校 高40期 有志

プロジェクションマッピングのご紹介

Projection Mapping



みなさん!
プロジェクションマッピングって
ご存知ですか!?

プロジェクションマッピングとは

コンピュータで作成したCGとプロジェクタ等の映写機器を用い、建物や物体、あるいは空間などに対して映像を映し、時には音と同期させる技術の総称です。
従来の映画のように平面のスクリーンに投影するものとの違いとして、立体物に映像を張り合わせる（マッピングする）ことが最大の特徴です。
投影される対象は建築物だけではく、靴、テーブルや椅子、額縁、広場、街そのもの、空、湖、人体、部屋、鞄、楽器、樹木などありとあらゆる物が対象となります。

プロジェクションマッピングの歴史

プロジェクションマッピングの歴史は古く1969年にはディズニーランドで実用化されています。1970年代のライトショーなどを経ながら、1990年代には表現手法として多く使われていました。当時は光源の不足もあって現在のように表現できませんでした。高輝度のプロジェクターの使用により、屋外でもより明るく表現できるようになった2000年代から、YouTubeなどで話題を集めるようになりました。
海外でプロジェクションマッピングが有名になったきっかけは、２００８年の北京オリンピックからといわれています。日本では２００３年から始まったOsaka光のルネサンス「ウォールタペストリー」や、２００６年に京都で行われた「アーキテクチャープロジェクション」などがあります。
2012年９月にはJR東京駅の丸の内駅舎で利用され、大型施設の壁面を用いたプロジェクションマッピングによって日本の一般層にも広く認知されるようになりました。

今回はプロジェクションマッピングの世界で積極的に社会連携に取組まれている宝塚大学東京メディア芸術学部とコラボレーションし、八高ならではの作品を制作しました。

群馬協力会

荒井建材有限会社	群馬県北群馬郡吉岡町上野田723-1	0279-54-4355
安斉建設株式会社	群馬県吾妻郡嬬恋村鎌原1386	0279-97-3825
株式会社　碓田	長野県北佐久郡軽井沢町大字軽井沢488	0267-42-5143
株式会社　グンマカッター	群馬県高崎市八千代町3-9-18	027-326-3444
株式会社　コムテックス	群馬県高崎市問屋町3-10-1	027-361-5443
栄建設株式会社	群馬県佐波郡玉村町大字五料349-1	0270-75-5164
進和工業株式会社	群馬県渋川市石原1401-1	0279-26-2114
田中総業	群馬県高崎市吉井塩川186-1	027-387-6976
株式会社　橘造園	群馬県渋川市北橘町箱田692	0279-52-2323
東昇運輸株式会社	群馬県伊勢崎市波志江町4673-5	0270-26-6644
トキワコンクリート工業株式会社	群馬県前橋市荒子町1601	027-268-2405
有限会社　萩原組	群馬県高崎市下里見町1326-1	027-344-0161
有限会社　福島電設	群馬県渋川市金井2117番地	0279-22-2170
株式会社　藤坂	群馬県桐生市広沢町5-4714	0277-52-6795
株式会社　三山	群馬県高崎市中里見町497-1	027-374-4703
株式会社　ヨシイ	群馬県高崎市寺尾町1236	027-323-8455
Ｒ・Ｓ・Ｓ株式会社	群馬県前橋市日吉町4-9-7	027-219-1083

ゴルフ仲間大募集！一緒にラウンドしませんか？

関東誠鏡会 若者ゴルフ会

期を越えて一緒にゴルフしよう！と始めたのが4年前。
毎年少しずつ仲間が増えて、年2回のペースでやっています。
実年齢不問。初心者大歓迎！ゴルフやる人はみんな若者！
お問い合わせはFacebook:関東誠鏡会若者ゴルフ会まで
代表：中野正純（高 33 期）、事務局：三橋正司（高 34 期）

八高五期の心意気

高５期

私たち八高五期は1953昭和28年3月に卒業、各地に散らばりましたが各地でもよく集まります。
特に、関東誠鏡会は1982年に第4回の当番幹事以来、毎年懇親を続けています。
私たちの誇りの一つは創立60周年記念の「八高讃歌」を上野登史郎先生の作詞、同期の南弘明君が作曲されたことです。この勇壮な歌を校歌とともに歌い続けてほしいということが願いです。
来2019は創立100年迎えます。
「ああ　讃えよや　この母校」と歌い続けてほしいのです。

2016年五期制作のDVD讃歌、校歌、旧八幡市歌

祝！第38回関東誠鏡会総会

高12期　誠鏡会十二期会（八十二会）

１２期の新年会は大雪の中、横浜中華街で開催
高校時代の雪中行軍を思い出したナァ～

『おかえりなさい』から、5年。

関東高35期

関東３５期は新メンバーも加わりちょいちょい気軽にあつまっています。
懐かしい友、会いたい人がいる場所
♪ここ～が、ふるさと♪
祝！第38回関東誠鏡会総会

当番期から４年、いまも楽しく集まってます

高校36期一同

36期の当番期のテーマは「大江戸やはた祭り」で、総会紙の表紙は隅田川、スカイツリーに若戸大橋が重なり、花火がいくつも打ち上がるというものでした。
当番期というイベントが僕らにとっての打ち上げ花火でした。

あれから４年が経っても終わらない祭りのように、毎年花見やフルーツ狩りやなんだかんだと集まっては飲んで食べて楽しく過ごしています。
こんな素敵な機会をくださった関東誠鏡会に感謝いたします。

思い出の明治記念館で、今年も「八高ファイト！」

高37期-TEAM3785

私たち高37期にとっては思い出深き明治記念館で、3年ぶりに関東総会＆懇親会が開催され、とても喜んでいます。今年は迎える側ではなく、
出席者として同窓生のみなさんと共に会を楽しみたいと思います。

笑顔でありがとう!次のステージへ一緒に紡いでいきましょう!

高38期　関東チーム

4年間の当番幹事を無事終え、これからの皆様との関わりが一層楽しみになりました。
高３８期の役割はこれからもみんなを笑顔にしていく事。自ら笑顔の輪を拡げて行くことで、誠鏡会をみなさんと一緒に盛り上げていきたいと思います。
先輩・後輩の皆様、これからもよろしくお願いいたします!

原点回帰　～バトンを　煌く次の１００年へ～

高校41期　関東

我々は、時代の変わり目に遭遇する運命なのかもしれません。
高校3年の冬、昭和という時代が終わり平成の世へ。
そして来年、母校は創立１００周年を迎え、関東誠鏡会総会・懇親会は新しい元号の元で開催されます。

積み上げた歴史が一つの時代を創り、そして新たな時代へとバトンがつながれていく。
新たな時代は真っ白なページから始まり、そこに新たな歴史が書き込まれていく。
このような流れの中で幹事を務めることになった我々は、一度原点に立ち返り、新たな歴史の１ページ目を皆様と一緒に描きたいと考えています。

昨年はありがとうございました。サンキュー 八高!!

高39期

昨年の第37回関東誠鏡会総会・懇親会には多くの方々にご参加いただき, ありがとうございました。私たちをあたたかく見守っていただいた皆さまにあらためて感謝申し上げます。
私たち高校39期, いよいよ来年は当番期最後の福岡誠鏡会総会。
同窓生皆さまの想いをこれからつづく世代にもしっかりとつないでいこうと思います。
サンキュー 八高!!

平成２９・３０年度

関東誠鏡会役員・活動紹介

平成３０年度　関東誠鏡会役員

顧　　問	篠原 政美	（高１８期）
会　　長	福元 勝志	（高３０期）
副 会 長	三橋 正司	（高３４期）
事 務 局 長	山本 寿美子	（高２６期）
理事・事務局次長	一木 誠	（高３４期）
理　　事	石橋 昌祐	（高２９期）
理　　事	中塚 秀則	（高３５期）
理　　事	伊東 努	（高４７期）
会　　計	武内 ひとみ	（高２８期）
会 計 補 佐	平山 貴子	（高３４期）
会 計 監 査	山下 孝宏	（高３０期）

関東誠鏡会の活動の一部紹介

平成29年
- 8月18日　メールマガジン「関八ニュース」配信
- 8月26日　第37回関東誠鏡会総会
- 10月17日　メールマガジン「関八ニュース」配信
- 10月28日　次期当番期への引継会・懇親会
- 12月　8日　交流企画「ＡＮＡ機体工場見学」
- 12月　9日　謝志会
- 12月18日　メールマガジン「関八ニュース」配信

平成30年
- 1月31日　関東誠鏡会幹事会
- 2月16日　メールマガジン「関八ニュース」配信
- 3月26日　交流企画「八高生関東関西研修旅行」歓迎会
- 4月20日　メールマガジン「関八ニュース」配信
- 4月21日　交流企画「春の皇居を走ろう！」
- 6月　9日　交流企画「女子会ｉｎ銀座」
- 6月29日　関東誠鏡会幹事会
- 7月23日　交流企画「八高放送部全国大会出場」激励会
- 7月27日　関東誠鏡会幹事会
- 8月　4日　謝志会納涼会
- 9月　1日　第38回関東誠鏡会総会

関東誠鏡会
http://kanto-seikyokai.jp

4/20 交流企画「春の皇居を走ろう！」

「未来サポート募金」の振込先
※三菱UFJ銀行「関東誠鏡会　会計　武内ひとみ」
　本店００１　普通　口座番号　６００７９３３
※ゆうちょ銀行「関東誠鏡会」00130-2-387634
振込元の記載に必ず卒業期の記入をお願い致します

高40期から皆さまへ

総会へのご寄付・お心づけを賜りましたこと、つながり瓦版・広告にご賛同、ご協力いただきましたことを、心から感謝申し上げます。

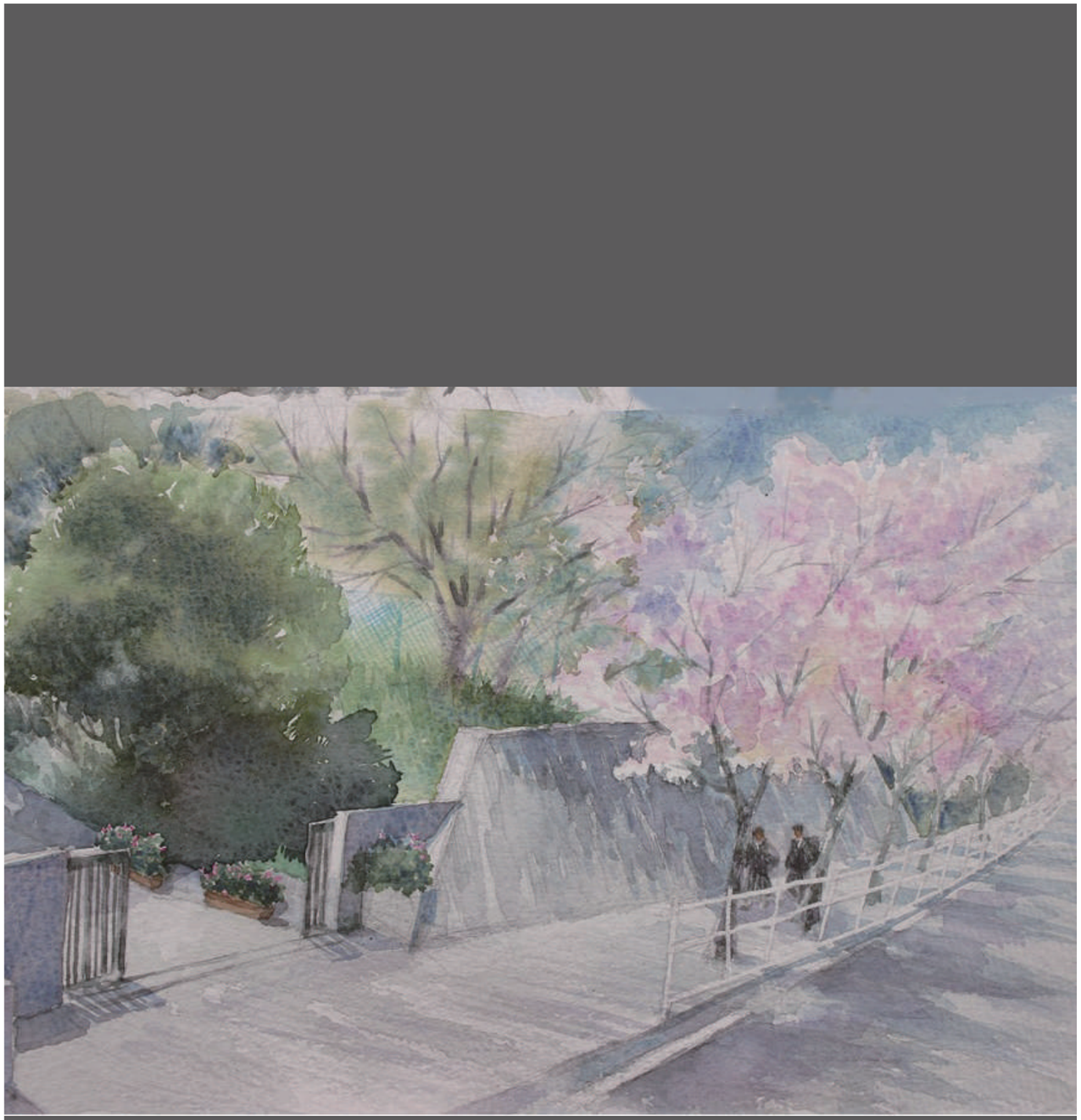
安部　健　様（高2期）	嶋村　政博　様（高２６期）	平山　貴子　様（高３４期）	重岡　信敬　様（高３７期）
入江　鉄雄　様（高3期）	北島　浩　様（高２８期）	草刈　康史　様（高３４期）	田中 ひとみ様（高３７期）
上野　滋子　様（高５期）	武内 ひとみ様（高２８期）	石井　由佳　様（高３４期）	古閑　正則　様（高３７期）
岡　智行　様（高７期）	渕上　義己　様（高２９期）	本戸　義信　様（高３５期）	本戸　博　様（高３７期）
森　猛　様（高１０期）	川村　孝英　様（高２９期）	中塚　秀則　様（高３５期）	水野　礼美　様（高３７期）
立花　和子　様（高１１期）	天野　雅子　様（高２９期）	神田　典子　様（高３５期）	平田　和也　様（高３７期）
丸山　義雄　様（高１１期）	樋渡 乃扶子様（高２９期）	山上　理加　様（高３５期）	成田　幸子　様（高３８期）
山口　勇　様（定１２期）	有薗　一男　様（高２９期）	佐藤　誠哉　様（高３５期）	神元　佳子　様（高３８期）
藤城　昌三　様（高１２期）	福元　勝志　様（高３０期）	伊藤　多恵　様（高３６期）	中森　洋　様（高３８期）
桑野　啓一　様（高１２期）	花田　康秀　様（高３０期）	森友　雅　様（高３６期）	今津　政明　様（高３８期）
川口 紀美子様（高１２期）	梶原　大資　様（高３３期）	中元　淳一　様（高３６期）	辰川　正浩　様（高３８期）
澤原　道康　様（高１５期）	松崎　均　様（高３０期）	徳丸　順子　様（高３６期）	川口　浩之　様（高３９期）
木原　節子　様（高１５期）	山下　孝宏　様（高３０期）	塚原　克孝　様（高３６期）	山下　照幸　様（高３２期）
長田　先雄　様（高１８期）	林　和義　様（高３１期）	坂田　太　様（高３６期）	山田　泰生　様（高３９期）
篠原　政美　様（高１８期）	完山　泰秀　様（高３３期）	杉山　正幸　様（高３６期）	高橋　聖子　様（高３９期）
花谷 きよ子様（高１８期）	石松　俊雄　様（高３３期）	植野　陽子　様（高３７期）	斉藤　準一　様（高３９期）
山下　忠　様（高２０期）	安武　明彦　様（高３３期）	竹原　孝　様（高３７期）	米倉　貴洋　様（高３９期）
濱田　一成　様（高２０期）	三橋　正司　様（高３４期）	岩永　正和　様（高３７期）	梁井　康二　様（高３９期）
今林　靖博　様（高２２期）	岩田　浩一　様（高３４期）	高野　祥央　様（高３７期）	佐藤　美穂　様（高４２期）
山本 寿美子様（高２６期）	森　利行　様（高３４期）	瀧口　郁子　様（高３７期）	松元　康洋　様（高４８期）

※順不同　7月26日現在

Special Thanks

明治記念館様、北九州市東京事務所様、学校法人大原学園東京校様、法政大学交響楽団の皆様
宝塚大学様、おもしろプロジェクト様、八幡高校教職員の皆様、ジョージワシントン：高21期中村様
高29期杉名様、高35期梶田様、高47期伊東様、八幡高校吹奏楽部の皆様
誠鏡会本部役員・事務局の皆様、関東誠鏡会役員・各期代表幹事・広報委員会の皆様
ご協力下さいました海外在住の皆様

第38回関東誠鏡会総会・懇親会の開催にあたり、ご挨拶を申し上げます。
本日は、ご多忙のところ、ご参加いただきまして、誠にありがとうございます。
本年の総会・懇親会は、「讃歌を紡ぐ!―ネクストステージへ―」をテーマに掲げ、これまでの取り組み方法や考え方をすべて見直し、改め、創意工夫と、新たものに果敢に挑むことで、実現不可能といわれていたものを可能とすることができました。本日の様々な企画やおもてなしを通じて、私たちの「チャレンジすることは楽しい」というパッションが、ご参加いただきました皆様に少しでも伝わり、それが明日への活力になれば、それ以上の幸せはないと思っております。ただ、その一方で、心残りもございます。それは、テーマにも掲げていた若い世代の参加者を増やすということができなかったことです。
私たちの情報収集と思考・発想の柔軟さが足りなかったと反省しております。この大きな課題については、後輩たちがそれを果たしてくれるものと信じてやみません。当番期が終わっても、できる限り彼らをサポートしていきたいと考えております。この度の総会・懇親会の開催にあたりましては、役員ならびに多くの同窓生の皆様、関係者の皆様から多大な支援とご指導を賜りました。心より御礼申し上げます。
また、来年母校である八幡高等学校は創立100周年を迎えます。その母校の更なる躍進と関東誠鏡会の益々の発展を高40期一同祈念致しまして、ご挨拶とさせていただきます。
明日からも、私たちは新たな楽しみを発見するために、常にチャレンジを続けていきます。

「いざ!ネクストステージへ」

第38回　関東誠鏡会総会・懇親会
実行委員長　高40期　中村　稔彦実行委員一同